

2019年度 展覧会予定(題名は、変わる場合があります。)

| 展覧会 | 日程 | 内容 |
|---------------------------------|-------------------|---|
| 描かれた神戸・大阪 —阪神名勝図絵と青山政吉 | 4/13(土)－6/30(日) | 「健康地として最良」と紹介された大正時代の阪神間の景観を描いたのが《阪神名勝図絵》です。30点の彩色木版作品には、こんにち想像する洗練された阪神間のイメージではない、牧歌的ともいえる当時の面影が描き込まれています。一方、青山政吉にとって水彩画は、日本画の繊細さとダイナミックな洋画の双方の特徴を発揮できる格好の技法でした。本展では、芦屋や西宮をはじめとする阪神間を描いた作品全55点を一堂に展覧いたします。 |
| コレクション展 こどもとおとな —これ、なににみえる?— | 7/13(土)－9/23(月・祝) | 美術博物館には、ちょっと変わった方法や素材で作られた作品、身近なものから実際にはないものまで独創的に表現した作品があります。それをみて何を感じるでしょうか。きれい、おもしろい、ふしぎ、すき、きれい、よくわからない…。すきも、きれいも、よくわからないも、何かを感じ取った証です。本展では、当館の所蔵作品から近現代の絵画・立体作品を展覧し、お気に入りの1点を見つけていただくことを目的に、なにで(素材)・どのように(技法)・どんなふう(表現)といった点から、こども向け・おとな向け両方の鑑賞ガイドを配布します。 |
| 第65回 芦屋市展 | 10/9(水)－11/24(日) | 「何人も随意に応募することができます。」という自由さが特色の公募展として、1948年に第1回が開催されました。平面・写真の2部門で構成されます。 |
| art trip vol.3 「number」 | 12/7(土)－2/9(日) | 現代美術作品と当館コレクション作品を展示し、美術をとおして日常と美術の関わり方を見つめなおすとともに、我々の「世界」を再考するシリーズの第3弾。本展では生活の中に不可分な関係として存在する「数」をテーマとします。2014年は「風景」をテーマに美術作品とともに詩を展示、2016年は「思考」をテーマに現代美術と考古資料を展示、開催しました。 |
| 芦屋市造形教育展 | 2/15(土)－2/23(日) | 市内の幼稚園・小学校・中学校生徒の作品を全館にわたり展示します。 |
| 「芦屋の歴史と文化財・昔の暮らし」展 | | 古代～現代までの芦屋の歴史をご紹介/ 人々の昔の暮らしぶりから現代を考えます。 |